

「腹心の友」加計孝太郎

中日新聞 7 月 25 日朝刊「特報」に標題が。リードから一学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡る 24 日の衆院予算委員会の閉会中審査には、安倍晋三首相が「腹心の友」と呼ぶ加計孝太郎・学園理事長（66）や、首相の妻・昭恵氏（55）の姿はなかった。加計氏はキーマン中のキーマンであり、昭恵氏は学園系列の保育施設の名誉園長に就任しているが、記者会見など公の場で何も説明していない。昭恵氏は、学校法人「森友学園」への国有地格安売却問題でも関与が疑われている。渦中の二人は今？



*写真は朝日新聞 7 月 26 日「時時刻刻」より

「影の主演」は加計氏だった。「(加計氏と) 特別な関係にあったのではないか」。閉会中審査で質問に立った民進党の大串博志氏がパネルで示したのは、昭恵氏のフェイスブックに一時掲載されていた写真だ。加計氏や安倍首相がワイングラスを片手に白い歯を見せた一枚。食事やゴルフの交遊は 2013 年以降、14 回に上る。安倍首相は「彼はチャレンジ精神を持った人物で、時代のニーズに合わせて、学部や学科の新設に挑戦していきたいという話は聞いたことがある」と認めたが、加計学園の獣医学部新設計画については「(今年 1 月の) 国家戦略特区諮問会議で知った」と説明。大串氏は「にわかには信じられない。加計隠しそのもの。加計氏の参考人招致、証人喚問を」と語気を強めた。野党は今回の閉会中審査で、加計氏と昭恵氏の参考人招致を求めたが、自民、公明両党に拒否された。疑惑発覚から約 4 カ月、加計氏は学園や系列校には姿を見せているようだが、メディアの取材には応じていない。

この獣医学部は文部科学省の大学設置・学校法人審議会で審査が続いている。開設の可否は 8 月に決まる見通しだが、愛媛県今治市の建設用地では来年 4 月の開学に向けた準備が着々と進む。

「加計氏は今治市民の前で説明したことがない。やましくなければ国会でも地元でも出てくればいいじゃないか」と憤るのは、今治市の市民グループ「今治加計獣医学部問題を考える会」の黒川敦彦共同代表だ。今治市は 3 月、獣医学部用地を市土地開発公社などから約 36 億 7400 万円で買い戻し、学園に無償譲渡した。建設費の半額に当たる 96 億円を限度に県との補助も議決している。考える会は 7 月、「建築単価が高額すぎる」との公開質問状を加計氏あてに出したが、「回答できない」と断られた。黒川氏は「不透明な金の流れを加計氏に説明して」と訴える。

郷原信郎弁護士は「加計氏の国会招致は不可欠だ。建設費が高額な理由や、安全設計が必要なバイオ施設の建設も計画する中で開学を急いだ理由、学校の財務状況について加計氏に問う必要がある。表に出て説明することができない者に、大学を開設する資格などない」と説く。

(2017 年 7 月 29 日)